

## 東日本大震災調査特別委員会 小委員会による被害状況報告

震災被害状況の確認と集約を行うため、東日本大震災調査特別委員会（委員長 及川梅男議員）に小委員会（4委員会）を設置いたしました。小委員会は常任委員会の所管する部門と同一の単位とし、6月6日、7日にそれぞれ現地調査と集約を行い報告書を作成しました。その内容は6月21日の特別委員会で報告し共通理解を深めました。各委員会の調査内容は次のとおりです。

### 【総務委員会】



激しい破損が見られる衣川総合支所

江刺区内の地区センター、江刺総合支所、衣川総合支所等を現地調査。藤里地区センターでは事務所の被害が大きく使用が出来ない状態。衣川総合支所は建物全体が危険であり、庁舎機能を他の施設へ移転しています。公共施設の耐

震調査と耐震補強の必要であり、内容を精査し災害に耐えうる、被害に遭いにくい公共施設の建築が必要です。

### 【教育厚生委員会】



胆沢文化創造センター図書館の水漏れ被害

各幼稚園、小学校、中学校、胆沢文化創造センター、江刺中央体育館等を現地調査。江刺南中学校

### 【産業経済委員会】



農地の亀裂・沈下（江刺区内）

は周囲の地盤が沈み、プールの傾き・基礎部分の破壊、体育館のブレースの変形が見られました。胆沢文化創造センターは大ホールの天井崩落、配管からの水漏れにより図書被害が見られました。施設全体として非構造建築物（天井等）、地盤について耐震を考慮した明確な基準が必要であり、復旧については現状復旧ではなく改良復旧が必要です。

江刺区・前沢区の農地被害、前沢温泉保養交流館 衣川荘、農協施設等を現地調査。前沢温泉保養交流館では駐車場や庭に亀裂、建物全体に破損が見られ休館中。衣川荘では館内火災報知機全損、厨房の機器食器の破損が見られました。

### 【建設環境委員会】



排気ダクトの破損（前沢下水浄化センター）

水田の亀裂も1000筆を超える状態。温泉や衣川荘などは早急な改修・整備が必要であり、各農家の負担軽減の対策が必要です。

お物見公園、向山公園、五十人町住宅、被災した市道、市営住宅平団地等を現地調査。お物見公園は、公園全域に被害が見られ、旧町から通じる市道にも甚大な被害が見られます。市道宮田牛沢線は地割れ、崩落の規模が大きく復旧に時間を要する状況です。平住宅は土壁の崩落などで避難を余儀なくされた市営住宅であります。震災から3ヶ月が経過しているが復旧工事の見通しが見えず、国、県、市が一体となって取り組むことが必要です。